

発行175年！ “ハワイ切手”の発行とその歴史

[山崎 文雄] 2

カラー連載

発行150年記念・小判切手ここが見どころ！①

ゼネラル収集からみた小判切手の魅力 [横原 晃二] 1

郵趣風土記〜マテリアルでたどる地域郵便史〜④ [板橋 祐己]

南知多の発展を担った内海局 8

封書10円時代の“記念・特殊切手”の楽しみ！ 使用面編① [横山 裕三]

「記念切手のご当地局使用」..... 10

押さえておきたい“日本切手の壺”⑤ [山口 充]

絵入り年賀用櫛型印 16

注目の新刊

『都道府県別 日本切手カタログ vol. 4 北海道・東北』 12

『ビジュアル日専 記念・特殊切手編1894-1945』 14

連載

著名人の手紙 ①77 [新垣 千尋]

歌舞伎役者 六代目尾上菊五郎 31

郵趣家の書斎 〜さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて ⑩⑨ [佐伯 幸一]

若林正浩さん

〜丸型ポストと郵趣の愉しみを発信〜 32

切手女子流“切手の楽しみ方”④ [ばば ちえ]

鹿児島島の旅で風景印と南国の風情を楽しむ 34

JPS研究会発信！ここに注目！収集のポイント③

「震災切手」を楽しむポイント [鎌倉達敏／震災郵趣研究会] 36

切手三昧〜人生は切手と共に ⑩ [山崎 好是]

京都通い(大学時代〜) 38

今月のミニボックス②〜みどころ紹介〜

世界の音楽切手展 39

風景印ピックアップ②①

デザインマンホール図案の風景印 40

丸ごと！世界新切手ニュース(72ヵ国829種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ①54 49

ワールドスタンプナウ ②56 [楢山 哲太郎]

エリザベス2世の人気は今も 50

『ビジュアル版』(図版ページ) 52

『テキスト版』(解説ページ) 65

情報・コミュニケーション

11月のイベント・スケジュール 18

日本新切手ニュース：「冬のグリーティング」／通信日付印時間帯表示廃止試

行／「令和9年用寄附金付絵入り年賀はがき・年賀エコー」図案一覧ほか ... 20

郵趣の目・国内情報：窓口用セルフレジで「有効期限付き証紙」開始 ほか ... 25

郵趣の目・海外情報：ニュージーランド不発行「マオリ」新形態の90c切

手出現／BANDUNG2026出品一覧 ほか 27

切手の博物館ニュース：「帆船がゆく！」展 ほか 29

BOOKS：「大阪の箱場印」／「郵便史研究 第59号 郵便史研究会紀要」 ... 41

読者のページ おたより喫茶室 42

協会事業のページ

JAPEX記念出版物案内 75

創立80周年記念事業「郵趣記事タイトル検索」／「郵趣MYコレクション展2027」案内 ... 76

全国郵趣大会2026 in 大阪 開催報告 77

研究会一覧／研究会・支部定例会 78

開催録／次号予告 ほか 79

公益財団法人日本郵趣協会のご案内 80

日次 2026 11 月号

[Whole No.933] Vol.80 No.11

郵趣

巻頭言

郵趣の世界を広げる

2020年以降、日本郵趣協会の3つの基本方針として、「郵趣の深耕」「郵趣のダイバーシティ拡大」「郵趣のバリアフリー化」を掲げてきました。この方針は、日本郵趣協会の80年にわたる活動を、私の言葉で表現しなおしたものです。

これらの基本方針を実現する活動のひとつとして国際化が挙げられます。世界の郵趣に触れることで多様な郵趣を知り、逆に日本の郵趣を知っていただくことで、郵趣のダイバーシティ拡大につながります。また、日本と世界の郵趣の間の垣根を低くしてバリアフリー化を進めることで、知らなかった郵趣の側面を学べます。結果として知識が広がり、郵趣を深耕できます。

国際化については、当協会として海外との交流を進めてきました。私自身も、米国に拠点を置く国際日本郵趣協会(ISJP)との交流や、国際切手展での各国郵趣団体との交流などを通じて、当協会の活動を紹介してきました。このような交流の積み重ねが、今年のJAPEXでひとつの形になります。ISJPが活動紹介のブースを出展してくれます。また、国内切手商の出店に加えて、海外からの切手商も出店します。

今年のJAPEXは、「小判切手展」「フィリピン切手展」のふたつの企画や、競争出品、研究会などによるブース、国内切手商の出店など、いつも以上に多彩で楽しいものとなっています。本号がJAPEXの開催前後に届くことと思いますが、海外からのブースにも立ち寄り、日本と世界の郵趣の交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

ルーマニアでは、誕生150年を記念し、2026年が「コンスタンティン・ブランクーシ年」と定められました。中央の切手に肖像、地にアトリエ風景や作品を描く小型シート(61・70㌔)は、左端の黒い折れ線と右端に入った穿孔線が、世界遺産の代表作「無限柱」を連想させます。空へと向かう造形が永遠性の象徴として、人々の記憶に刻まれている作品です。